



東日本ユニオンにいがた

http://niigatachihon.yukigesho.com/

JR東日本労働組合新潟地方本部

2026年7月1日発行

第58号(通巻第418号)

発行者: 星山 圭 編集者: 組織部

JR東日本労働組合 第15回定期大会



と き: 2026年7月7日(火)
12時00分 開会
ところ: 田町交通ビル
6階 大ホール

定年退職まで安心して働くために 設備・環境の改善を強く求める

申15号・定年退職まで安心して働ける労働環境の実現を求める申し入れ団体交渉

新潟地本は5月19日に、申15号・定年退職まで安心して働ける労働環境の実現を求める申し入れの団体交渉を行いました。

社員が安心して定年退職まで働ける環境を実現するために、84項目にわたる改善を求めました。

休養室関係——2段ベッド廃止など実現

休養室の寝具・リネン類の管理や更新、老朽化した設備のリニューアル、空調設備の改善など、休養室の環境に関して35項目にわたる改善を求めました。

支社側は総じて、建物設備等に関しては経過年数や老朽度合い等を総合的に勘案し、改修・新設可能なものから順次進めていくとの回答を示しました。

◆ ◆ ◆
支社側は、老朽化や汚れが目立つ建物設備のリフォームが必要であることは承知しているとして、予算のタイミングで考えているとしました。

村上駅間島方の休養管理室については、一時リフト

寝具・リネン関係について支社側は、管理はグループ会社が行い、支社としてはクリーニングや乾燥などのスケジューリング管理を行っているとしていました。

現在使用している枕や布団などがいつから使われているのかは把握していないとした上で、支社として現時点で新調や改善の考えはないとしました。

寮・社宅関係——大規模改修には難色

◆ ◆ ◆
支社側は、寮・社宅関係については、大規模改修には難色を示しました。

住宅の建て替え・リフォームや社員寮の設備改善、供食環境の改善など、4項目にわたる改善を求めました。

◆ ◆ ◆
支社側は、寮・社宅関係については、大規模改修には難色を示しました。

住宅の建て替え・リフォームや社員寮の設備改善、供食環境の改善など、4項目にわたる改善を求めました。

職場環境関係——施設改修の必要性は認識

◆ ◆ ◆
支社側は、職場環境関係については、施設改修の必要性は認識を示しました。

安心して働ける職場環境を整えるために、施設・設備・備品・被服など、幅広い内容で29項目にわたる改善を求めました。

◆ ◆ ◆
支社側は、職場環境関係については、施設改修の必要性は認識を示しました。

安心して働ける職場環境を整えるために、施設・設備・備品・被服など、幅広い内容で29項目にわたる改善を求めました。

◆ ◆ ◆
支社側は、職場環境関係については、施設改修の必要性は認識を示しました。

安心して働ける職場環境を整えるために、施設・設備・備品・被服など、幅広い内容で29項目にわたる改善を求めました。

出向関係——社員の募集はJRも協力

◆ ◆ ◆
支社側は、出向関係については、社員の募集はJRも協力するとしていました。

出向先の環境に関して、6項目にわたる改善を求めました。

◆ ◆ ◆
支社側は、出向関係については、社員の募集はJRも協力するとしていました。

出向先の環境に関して、6項目にわたる改善を求めました。

◆ ◆ ◆
支社側は、出向関係については、社員の募集はJRも協力するとしていました。

出向先の環境に関して、6項目にわたる改善を求めました。

◆ ◆ ◆
支社側は、出向関係については、社員の募集はJRも協力するとしていました。

出向先の環境に関して、6項目にわたる改善を求めました。

◆ ◆ ◆
支社側は、出向関係については、社員の募集はJRも協力するとしていました。

出向先の環境に関して、6項目にわたる改善を求めました。

◆ ◆ ◆
支社側は、出向関係については、社員の募集はJRも協力するとしていました。

出向先の環境に関して、6項目にわたる改善を求めました。

◆ ◆ ◆
支社側は、出向関係については、社員の募集はJRも協力するとしていました。

出向先の環境に関して、6項目にわたる改善を求めました。

◆ ◆ ◆
支社側は、出向関係については、社員の募集はJRも協力するとしていました。

出向先の環境に関して、6項目にわたる改善を求めました。

◆ ◆ ◆
支社側は、出向関係については、社員の募集はJRも協力するとしていました。

出向先の環境に関して、6項目にわたる改善を求めました。

